

# 伊達市

伊達市は、北海道の南西部にあり札幌市と函館市のほぼ中間に位置しており、平成18年3月に旧伊達市と旧大滝村とが飛び地合併し、新「伊達市」として新たなスタートを切っています。

## ●伊達地区

南西は太平洋（噴火湾）、北東は有珠山・昭和新山に面しており、観光地である登別市・洞爺湖町と接しています。北海道の中でも雪が少なく温暖な気候であることから「北の湘南」と呼ばれています。市街地は、病院、大型ショッピングセンター、福祉施設などの生活に必要な施設がまちなかに集約された「コンパクトシティ」となっています。

## ●大滝区

内陸で山に囲まれているため森林産業が盛んであるとともに、北湯沢温泉郷として名高く、毎年多くの観光客が訪れています。



年中、いろいろ。  
年中、とれたて。

噴火湾の風が吹き抜ける、有珠山の麓では  
野菜の季節に終わりはありません。

ひと足早く雪がとける、春。  
太陽の光がふりそそぐ、夏。  
大地が色濃く染まる、秋。  
雪が少なくあたたかい、冬。

伊達のおだやかな気候風土が育んだ  
多彩な美味しさを、ぜひあなたに。  
北海道の畑から、一年中お届けします。

伊達野菜  
MADE IN HOKKAIDO



年中、いろいろ。  
年中、とれたて。

## ○伊達市の農業

本市の農業は、明治3年に仙台藩一門の巨理藩士により開拓されて以降、いち早く西洋式農法を取り入れるなど農業とともに発展し、約150年の歴史を有しています。

現在では、恵まれた気候条件を生かした、通年行うことができる野菜栽培を中心に、水稲・畑作・果樹・花卉・畜産など多種多様な農産物を生産しています。

また、最近では道内外から本市に移住し農業を始められる方もおり、本市での研修を経て農業担い手として活躍しています。そのような中、本市では振興作物であるトマト・ブロッコリーの生産を行う新規就農希望者への支援体制を強化していきます。

## ○就農までの主な流れ

4月～6月	募集期間	伊達市での新規就農研修を希望する方はこの期間に相談受付を行います。事前にフェアなどで担い手センターの職員に詳細を確認しておくとし農までのイメージを立てやすいのでおすすめです！
7月上旬～8月上旬	体験研修期間	新規就農研修を希望された方に、市内の指導農家での体験研修（1週間程度）を受けていただきます。研修開始後、抱いていたイメージと違う、厳しくて続けられないなどのミスマッチをなくすことや、実際に研修に入る際の指導農家との相性等、適正を判断することを目的としています。
8月上旬～9月上旬	選考期間	7月～8月に体験研修を終え、その後もなお伊達市での就農希望する方の中から、あらかじめ独立から5年後までの青年等就農計画などを提出いただいたうえで面接を行い選考します。
10月上旬～10月中旬	研修開始	10月中旬に新規就農研修を開始します。開始から2年間、厳しい研修を受けた後に、指導農家を含む関係機関から独立に必要な営農技術等が備わっていると判断され、且つ、青年等就農計画が達成可能な計画であると認定されれば独立した農業者として認められます。

## ○新規就農者を支援する制度

助成金等名	助成金の内容	助成金の基準、期間
就農支援給付金（生活支援）	月額100,000円の支援を行います。	新規就農研修を開始された方
就農支援給付金（住宅支援）	市営住宅に優先的に入居出来ます。また、家賃・駐車代・共益費の合計から15,000円を差引いた額を支援します。	新規就農研修を開始された方

## ○就農の主な要件

- ・研修後、伊達市内で独立営農すること
- ・夫婦での独立営農であること
- ・独立後は伊達市農業協同組合の組合員になること
- ・十分な自己資金があること
- ・研修開始時の年齢が45歳未満であること



## ○就農モデル

### ①就農できる作物

- ・トマト（施設）、ブロッコリー（露地）
- 研修作目
- 独立後は多品種多品目の作物を栽培可能

### ②主要営農モデルに係る初期投資額

土地（農地含む 100a）：8,000千円  
農業機械・施設：23,300千円  
その他（井戸一式）：5,100千円  
計：36,400千円

※ 土地、農業機器等のおおよその合計額ですが、近年の物価高騰によりこの金額を超える場合があります。



伊達市 経済環境部 農務課 農政係  
北海道伊達市鹿島町20番地1  
TEL：0142-82-3201  
伊達市HP：<https://www.city.date.hokkaido.jp/>